



広報く に み

KUNIMI

8

August 2024

No. 613

Cover

今月の表紙は、国見小学校1年生が初めて通知表を受け取る様子です。夏休み前最後の登校日。担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれ、緊張した表情ながらも、うれしそうに通知表を受け取っていました。「1学期にがんばったことが書いてあります」と先生の話聞きながら、真剣に通知表を読んでいました。これからの成長が楽しみです。

Contents

- 02 … この町でハタラクこと
- 06 … 令和6年度国見町子ども議会
- 08 … 国見町消防団定期点検
- 10 … 歴まちさんぽ
- 12 … まちのわだい ほか

この職業に就いたきっかけは？

鉄道の「食堂車」のコックに憧れて、料理の道に進んだ。いくつかのホテルで修行した後、生まれ故郷の国見町で自分のお店を開きたいと思い、洋食店をオープンした。

この職業のやりがい、魅力は？

「おいしい」と言ってもらい、再度来店してくれたときに喜びを感じる。また、オリジナル商品を作れるなど、やる気次第で色々なことに挑戦できることも魅力のひとつ。

苦しいこと、大変なことは？

お店を経営しているので、人手不足や資金面などの経営の悩みは尽きない。

これからの夢

皆さんから末永く愛される味・お店になってもらいたい。

「やりたい」という 思いを大事に

にのみや たもつ
二宮 保さん (43年目)

料理人
/ ファミリーレストランあぶくま



おもてなしの先に お客様の笑顔

ファミリーレストランあぶくま
きむら そうし
木村 颯志 さん



お店を訪れたことがあって、どんな仕事をしているのか気になったので、希望しました。

仕込みや皿洗い、配膳などの接客を体験しました。はじめは恥ずかしくてなかなか上手くあいさつできませんでしたが、最後の方は大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と言えるようになりました。

自分が作ったわけではないですが、お客様が完食して帰った時は、うれしくなりました。また「おいしかったよ」と声を掛けられたときは、やりがいを感じました。

おもてなしの心を持った気遣いができる大人になりたいです。



この職業に就いたきっかけは？

小さいころから親戚の子どもと遊んだり、面倒を見たりするのが好きで、子どもに関わる仕事が夢だった。

この職業のやりがい、魅力は？

行事や活動を終える度に子どもたちの成長と達成感を感じる。また、成長した子どもたちを次の学年に送り出す時に子どもたちや保護者から「ありがとう」と言ってもらえると、やっていて良かったと思う。

苦しいこと、大変なことは？

大切なお子さんをお預かりしているので、責任が大きいこと。一人ひとりに合った援助の悩みも多い。

これからの夢

子どもたちが心身ともに成長できるよう、さらなる知識を習得して、信頼される教諭になっていきたい。

子どもたちの 成長を間近で実感

たんじ
丹治 みやびさん (9年目)

幼稚園教諭
/ 国見町立くにみ幼稚園



体験をとおして、 なりたい自分に

国見町立くにみ幼稚園
めぐろ ゆあ
目黒 幸愛 さん



8歳年下の妹のお世話が好きで、将来、幼稚園の先生になりたいと思っていたので、体験できてよかったです。

子どもたちから「〇〇ってなに？」と質問された時に、子どもたちが知っている言葉で説明しないといけないのが難しく、大変でした。最終日のお別れの時に「帰らないで」と泣いてくれた子や「楽しかった」と言ってくれて、とてもうれしかったです。

くにみ幼稚園の先生方は、優しく、時には厳しく、愛情を持って子どもたちと接していて、私も先生方のように愛情あふれる幼稚園の先生になりたいと思いました。

中学生職場体験レポート

この町で ハタラク こと

国見町には、さまざまな職業があり、その働き方も人それぞれです。先日職場体験をした県北中学校2年生と、夢を叶えて活躍している6名の先輩方に働くことへの希望ややりがいを聞きました。

地域と連携して
「働く」ことに挑戦

県北中学校2年生の43名が7月9日から10日までの2日間、学校から離れて、さまざまな「働く」体験をしました。

飲食店や小売店、病院、介護施設、幼稚園、建設会社など、13社の企業や施設の協力のもと、生徒が自ら選んだ職場で、さまざまな業務に挑戦しました。

「ありがとうございますって言ってもらえてうれしかった」「意外と体力を使う」「上手くできるようになった」など働くことの楽しさや厳しさを、やりがいを感じていました。

職場体験は、社会へつながる初めの一步。働く大人たちと接して、その知識や技術、思いに触れ、5年後、10年後の自分の将来を考えるきっかけになる貴重な機会。

職場体験で働くことの楽しさや厳しさを感じた生徒たちは、何を学んだでしょうか。

この職業に就いたきっかけは？

長年、違う業種で働いていたが、これからは介護の仕事が社会に役立つと思い、自分がどのくらいできるのか挑戦の意味も込めて介護職に就いた。

この職業のやりがい、魅力は？

行事やレクリエーションなどで、普段見せない表情で楽しんでいる利用者さんを見た時にやりがいを感じる。

苦しいこと、大変なことは？

安心・安全に生活が送れるように、その人に合ったケアを導き出して、行わなければならないこと。

これからの夢

高齢者の割合に対して、なり手が少ない…。利用者さんが生活しやすく、職員も働きやすい環境をつくっていききたい。

人とのつながりや温かみを感じる仕事

わたなべ ゆきこ
渡辺 千子さん (10年目)

介護福祉士
/ 特別養護老人ホームあつかし荘



利用者さんの目線で気配りができる人に

特別養護老人ホームあつかし荘

きくち しおん
菊地 史桜さん



私の親が老人ホームで働いていて、どんな職業なのか知りたかったので、あつかし荘を選びました。

体験では、入浴準備や昼食準備、配膳、ベッドメイキングを行いました。また、利用者さんと折り紙を折るなど、ふれあう機会がありました。最初は緊張して、なんて声を掛けていいか分からなかったですが、利用者さんから声を掛けてくれて、お話しすることができました。

体験してみて、一日中動きっぱなしで、体力のいる仕事だと思いました。職員の方は、困っている人はいないか、常に目を配っていることが分かりました。

困っている人に声を掛けられるようになりたいと思いました。

この職業に就いたきっかけは？

生まれ育った国見町をたくさんの方に知ってもらえる仕事があったから。

この職業のやりがい、魅力は？

農産物をはじめ、“国見のいいもの”を広められること。故郷のために仕事ができること。

苦しいこと、大変なことは？

取扱う商品が幅広いため、商品知識を身に付けないといけないこと。(日々勉強！)

これからの夢

たくさんの方々に利用していただけるように、地元のプロducerや事業者と連携して、“国見のいいもの”をそろえて、地域内外から愛されるお店にしていきたい。

自分の手で地域を盛り上げる

さとう たかひこ
佐藤 堯彦さん (7年目)

地域商社
/ 道の駅国見あつかしの郷



人と関わる仕事にやりがいを実感

道の駅国見あつかしの郷
さとう ゆう
佐藤 優羽さん



小学生の時に、お父さんのお手伝いで道の駅国見にきゅうりの品出しをしたことがあって、道の駅で働く人はどんな仕事をしているか知りたいと思いました。

体験前はあまり人と関わらないイメージを持っていたのですが、お客さんをはじめ、置いてある商品の数だけ関わる人がいることを初めて知りました。

体験では、商品の品出しやレジ打ちを行い、お客さんの邪魔にならないように商品の在庫を確認したり、陳列場所が間違っていないか確認するのが難しかったです。お客さんから「ありがとう」と言われたことがうれしかったです。

人と関わって、自分も相手も笑顔になる仕事に就きたいと思いました。

この職業に就いたきっかけは？

創業者が親戚ということもあり、建設業は身近な存在だった。現場で働く方々が協力して、建物や構造物を作り上げる姿に感動したのがきっかけ。

この職業のやりがい、魅力は？

カタチとして残るため、やりがいを感じやすい。また、お客様や地域の方の喜ぶ姿を見たときは、自分の仕事が必要とされていると実感できること。

苦しいこと、大変なことは？

外仕事なので、身体への負担が大きいこと。また、現場監督として事故が起きないように安全管理の徹底が大変。

これからの夢

安全第一で、作業員一人ひとりが働きがいを感じてもらえるような現場を作っていきたい。

完成したときの達成感

さくま まさのり
佐久間 真徳さん (16年目)

建築・土木
/ 有限会社 佐久間工業



この職業に就いたきっかけは？

小さいころ、祖母の通院に付いて行ったときに、人のために働く看護師さんに憧れを抱いた。

この職業のやりがい、魅力は？

自分が提供した看護に対し、感謝されると人の役に立っている実感が湧いてうれしい。また、患者さんの状態が改善したときは、とてもやりがいを感じる。

苦しいこと、大変なことは？

生命を預かる仕事なので、責任の重さやプレッシャーを常に感じること。

これからの夢

手術室看護師として緊張感のある現場を担当していて、安全かつ患者さんに寄り添った看護が提供できるように専門的な知識・技術を習得していきたい。

自分自身も成長できるやりがいのある職業

たんの あさみ
丹野 麻美さん (16年目)

看護師
/ 公立藤田総合病院



職人技を間近で体験技術を持った人に

有限会社佐久間工業
いさご かいじ
井砂 海志さん



大工などの建設関係に興味があり、佐久間工業を希望しました。

釘打ち、ビス打ち、測量、ショベルカーの操縦を体験し、暑い中での作業は大変でしたが、やっていくうちに上手くできるようになり、楽しかったです。暑い日も寒い日も現場で働く職人さんのすごさを肌で感じました。

ショベルカーの操縦体験では、砂利をたくさんすくうことが、効率よく作業を進めるポイントだと教えてもらいました。すくう量を意識して操縦しましたが、なかなか難しかったです。教えてくれた職人さんは、自由自在に操縦していて、とてもかっこよかったです。私もスキルを持った大人になりたいです。

医療現場で人の役に立ちたい

公立藤田総合病院
さいとう るあ
齋藤 瑠亜さん



医療関係の仕事に興味があり、藤田総合病院を希望しました。

1日目は、さまざまな部署を見学し、どんな仕事があるのか教えていただきました。2日目は、興味を持った部署を選んで、見学や体験をしました。

私は、リハビリを選び、患者さんのリハビリのお手伝いをしました。患者さんとケガの話やプライベートな話をしたのですが、患者さんとコミュニケーションを取って、お互いが話しやすいようにすることが大事だと感じました。最後に患者さんから「頑張ってるね」と言ってもらえてうれしかったです。

職場体験をとおして、人の役に立てる看護師になりたいと思いました。



子ども議長
のむら けいすけ
野村 慧介 さん



▲議事を進行する野村子ども議長

子ども議会を終えて

いい経験になると思って議長に立候補しました。最初は緊張しましたが、徐々に慣れてきて、聞き取りやすいように意識しながら、後半は上手く進行することができたと思います。



子ども議員
やまき なな
八巻 南菜 さん

Q 町のシンボル「阿津賀志山」を活用して地域活性化を！

A 林道整備や木材活用、イベント時の臨時カフェ開設など、今後も知恵を絞って取り組みます。

子ども議会を終えて

私たちが知らないだけで、阿津賀志山関連の事業を既に取り組んでいること、山頂での臨時カフェはイベント時に検討するなど、前向きな回答があって、うれしかったです。



子ども議員
おおうち げんと
大内 弦人 さん

Q 「くにみ学園」の今後と、体育館やプールの建設・修理の予定は？

A 町の教育や施設は、皆さんの意見を聞きながら、今後の方針を検討していきます。

子ども議会を終えて

「くにみ学園」は、率直に気になっていたのので、質問しました。公共施設については、僕たちの意見も聞きながら、検討していくと言ってくれたので、一緒に考えていきたいです。



子ども議員
たかさわ りくと
桜澤 来楠 さん

Q 20代、30代の人が少ないと感じる。移住者を呼び込む施策は？

A 住む場所、働く場所、子育ての支援と情報発信を継続して取り組んでいきます。

子ども議会を終えて

若者が少なく、活がないように感じたので、移住の質問をしました。町独自の移住施策があることがわかりました。各世代で意見交換できる場があるといいと思いました。



子ども議員
さとう なぎ
佐藤 凪 さん

Q 町内店舗や特産品を活かしたイベントを開催し、魅力発信を！

A 提案いただいた内容は、イベントなどに取り込み、町の魅力を発信していきます。

子ども議会を終えて

提案したイベントは、本気で考えた内容だったので、今後の参考にしていきたいと言ってくれたので、提案してよかったです。いい経験になりました。



子ども議員
すずき りくと
鈴木 陸斗 さん

Q 空き家を使った「ドッグカフェ」を開設して、動物愛護と町の活性化を図ってはどうか？

A 民間事業者が開設するときは町も協力したい。双方の課題に対応した、いいアイデア。参考にします。

子ども議会を終えて

町が直接開設できない理由を丁寧に説明してくれたので、納得しました。提案した「空き家×ドッグカフェ×犬猫里親募集」は、いいアイデアと言ってくれてうれしかったです。

まちの未来は、 私たちの未来。



令和6年度国見町子ども議会

子どもたちが
考えたまちづくり

国見町子ども議会が7月17日、国見町役場の議場で開催されました。県北中学校3年生の生徒が子ども議長と議員になり、まちづくりに関する質問や提言をしました。

子ども議長の野村慧介さんが議会の開会宣言をすると、議員席に座る子ども議員の5名は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。町の移住施策や観光開発、魅力発信のイベント、空き家対策、くにみ学園構想、公共施設など、幅広い質問に引地真町長や担当課長が丁寧に答弁しました。

傍聴した生徒たちも、子ども議員の質問や町からの回答を真剣にメモする姿が見られました。

町の将来を担う子どもたちが、まちづくりへの関心を高め、これからの町の在り方を考える貴重な機会となりました。





いつどこで発生するかわからない災害。私たちの生活は常に災害と隣り合わせです。国見町消防団では、災害から「町民の生命と財産を守る」という崇高な使命感のもと、日頃から訓練に励んでいます。その成果を披露する「国見町消防団定期点検」が6月30日、県北中学校校庭で行われました。



定期点検に先立ち行われた観閲式では、藤田商店街に整列した消防団員を前に、統監の引地真町長が車上から観閲しました。

会場を県北中学校校庭に移して行われた定期点検では、今年度の各種表彰が行われた後、通常点検、機械器具点検、小隊訓練、ポンプ操法などを実施。団員一人ひとりが正確かつ機敏な動きで日頃の訓練の成果を披露しました。

閉会式では佐藤博之団長が「より一層の予防消防を図るとともに、団員が一致団結して災害防止に努めていきます」とあいさつ。団員は地域防災への誓いを新たにしました。

定期点検表彰等受賞者
(敬称略)

- 【福島県消防表彰】
 - ▼精勤章 佐藤武 ▼永年勤続章 菊地智幸
- 【日本消防協会定例表彰】
 - ▼勤続章 佐藤武
- 【福島県消防協会定例表彰】
 - ▼功績章 松浦祐一 ▼精勤章 渋谷憲道、鈴木純治、佐藤智、赤坂正行 ▼退職団員感謝状 菊地秀一、佐藤俊弘、鈴木秀雄、菊地智幸、浅野正宏、後藤克利、佐藤敏信
- 【消防協会伊達支部定例表彰】
 - ▼功績章 松浦司、渋谷憲道、鈴木純治 ▼精勤章 佐藤幸教、佐野勉、安藤良樹、遠藤正浩、菊地久好、近久寿幸、菊地健一
- 【国見町消防団長表彰】
 - ▼退職団員感謝状(勤続15年以上)
 - || 菊地秀一、佐藤俊弘、鈴木秀雄、菊地智幸、浅野正宏、後藤克利、佐藤正史



▼優良消防団員(勤続10年以上)

- || 遠藤正浩、佐藤幸裕、岡田啓貴、近野祐也、竹田学、曳地信一、高橋健一

— Activity Report — Vol. 46
地域おこし協力隊活動日記



なかじま りょうすけ
中島 涼輔



やまだ がく
山田 岳

就農を目指して修行中です！

みなさん、こんにちは！地域おこし協力隊農業部門の中島涼輔と山田岳です。

私たちは町内での就農を目指し、それぞれベテラン農家さんのもとで桃などの栽培技術を学んでいます。

現在は桃の収穫シーズンを迎え、収穫の方法やおいしい桃の見分け方など教えていただきながら、忙しい日々を送っています。

桃栽培の技術と知識を深めて、地域農業の未来を担う一人になれるよう、これからも頑張っていきます！



▲桃の収穫作業の様子

心なみオトたち

くにみ幼稚園 (年長組)
「こんな船に乗りたいな」



まつだ ひろと



ほしの そら



よしだ せな



ししど はな

第2期国見町歴まち計画の策定を進めています

度重なる災害と人口減少が進む町の現状から第1期計画の成果を引き継ぎながら、文化財の保存継承と地域コミュニティの維持発展のために、歴史を活かしたまちづくりが引き続き必要と町では考えます。

第2期計画では、町民の皆さまの意見や想いを計画に反映させながら、以下4項目を取組方針として策定を進めています。特に情報発信・住民協働に重点を置き、来訪者から保存継承の支援者につながる意識の醸成を図り、担い手の確保と継承体制の強化につながる好循環を生み出すことを柱とします。

第2期歴まち計画の取組方針

方針
01



史跡阿津賀志山防塁の保存・活用に関する方針

方針
02



伝統を反映した人々の活動の継承に関する方針

方針
03

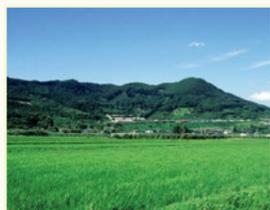


歴史的建造物の保存・活用に関する方針

方針
04



情報発信と人材育成・住民協働の充実に向けた取組に関する方針



阿津賀志山の風景とそこから延びる阿津賀志山防塁、そしてそこにもたらされた「中尊寺ハス」は、この町の「地域らしさ」（アイデンティティ）と新しい魅力が融合した成功事例です。



鳥取福源寺観音堂を核とした来訪者へのもてなしは、多くの方が感動。



祭礼や地域の行事は賑わいとコミュニティの根源となります。

町では、今年3回の歴史まちづくりシンポジウムと2期計画策定に関わるパブリックコメントの実施を予定しています。皆さまのご意見をお寄せください。

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



松田家住宅（貝田） 国登録有形文化財（建造物）登録証プレート除幕式&一般公開

令和4年10月に国登録有形文化財となりました松田家住宅の登録証プレート除幕式と一般公開が、6月29日に開催され、約60人が参加しました。

当日は、郡山女子大学の長田城治准教授から「幕末から明治初期にかけて建築されたと考えられる入母屋造りの主屋は、貝田地区で発生した大規模な火災の影響により高い防火意識を持った造りと、この地域における養蚕業導入期の遺構を残す貴重な建物である」と解説がありました。



▲建物の魅力を解説する長田准教授

国見町歴史的風致維持向上計画（歴まち計画） 10年間の最終評価に向けた町民アンケートを実施します

平成27年2月に国から認定を受けた国見町歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）は、7つの歴史的風致（歴史的建造物と伝統的な活動が一体となった町並み）を維持向上させることを目的として、6つの課題に基づく方針を定め、この10年間に13の事業に取り組みました。

その最終評価に向けた町民アンケートを実施します。

〈アンケート募集期間〉 9月30日(日)まで

※回答方法などの詳しい内容については、町ホームページをご覧ください。

歴まち計画の取組による波及効果

道の駅国見、あつかし歴史館、あつかし千年公園の整備によって相乗的に交流人口が増加し、町の歴史・文化に対する関心が町内外に広がっている。

阿津賀志山防塁・あつかし歴史館・祭礼・民俗芸能・歴史的建造物など、地域に根差した歴史・文化財を核とした住民主体・協働によるまちづくりが展開。

歴史文化遺産の総合的調査により、新たに町指定文化財・国登録文化財が5件加わり、文化財の保護と継承につながっている。

1期計画の計画内容と事業成果・課題については、町ホームページまたは以下の広報くみに各号もご参照ください。

- ・令和5年6月号「歴まちさんぽ vol.72 どうなった？「歴史を活かしたまちづくり」
- ・令和5年12月号「歴まちさんぽ vol.78 これからの文化財の維持管理、活用について」
- ・令和6年3月号「歴まちさんぽ vol.81 今後の歴史まちづくりについて」

あいさつがつくる明るい社会 「社会を明るくする運動」啓発活動

犯罪や非行のない安全・安心な社会を目指す「社会を明るくする運動」の啓発活動が7月11日と17日の2日間にわたって行われました。

活動初日の11日には、県北中学校で啓発活動の一環としてあいさつ運動を実施。生徒会役員の生徒や保護司の皆さんが、登校してくる生徒とあいさつを交わしながら、犯罪や非行のない社会づくりを呼びかけました。



中学生に犯罪や非行のない社会を呼びかける委員

甘くておいしい桃をありがとう ふくしま未来農業協同組合が桃を贈呈

ふくしま未来農業協同組合は7月12日、伊達地区で生産された安全で甘くておいしい桃をくにみ幼稚園の園児に贈りました。佐々木三起夫国見営農センター長から桃を受けとった園児たちは、感謝の気持ちを込めて描いた桃のイラストを手渡しました。佐々木センター長は「町内の農家さんがつくったおいしい桃を食べて、元気に過ごしてください」と話しました。



おいしいももをありがとうございます！

交通ルールを守って事故撲滅を 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動（7月16日から25日）に合わせ、7月16日に道の駅国見あつかしの郷で交通安全キャンペーンが行われました。国見町交通対策協議会や福島北署桑折分庁舎などの関係団体から約20名が参加し、来場者にチラシや反射材などを配布。また、パトカーや白バイの乗車体験も行われ、交通事故防止を呼びかけました。



白バイの乗車体験する来場者

震災で深めた連携をさらに強化 福島県不動産鑑定士協会と包括連携協定を締結

国見町と公益社団法人福島県不動産鑑定士協会は7月22日、災害対策や空き家対策など不動産流通の活性化を目的とした包括連携協定を締結しました。

令和3年2月と令和4年3月に発生した福島県沖地震の住家被害認定調査を連携して取り組んだことが起点となっています。

福島県不動産鑑定士協会の佐藤栄一会長は「町のニーズを把握し、ともに地域社会の活性化に貢献したい」と話しました。



協定を交わした佐藤栄一会長（左）と引地町長（右）

安全・安心な社会の実現を誓う 「社会を明るくする運動」国見町推進委員会

犯罪や非行のない安全・安心な社会を目指す第74回「社会を明るくする運動」国見町推進委員会が7月2日、国見町役場で開催されました。

朝内尚光委員が岸田文雄内閣総理大臣、内堀雅雄福島県知事のメッセージを読み上げ、引地真町長に手渡しました。引き続き、出席者は犯罪や非行のない社会の実現に向けて意見を交わしました。



犯罪や非行のない安全・安心な地域を目指して

思いやりの心とともに “人権の花”を町内団体へ寄贈

国見小学校の整美委員の児童と町人権擁護委員の皆さんが7月4日、人権の花運動で育てた花を町に贈呈しました。

国見小学校体育館で行われた贈呈式では、鈴木颯（すずきはやせ）さん（6年）が「元気に咲くように、みんなで頑張ってるよ」とあいさつ。贈呈された花は、町社会福祉協議会、町デイサービス、国見の里、公立藤田総合病院、藤田駅、役場庁舎に飾られます。



大切に育てた人権の花が寄贈されました

福島県産桃を召し上げられ ミスピーチキャンペーンクルーが来町

2024 ミスピーチキャンペーンクルーが7月4日に国見町役場を訪れ、キャンペーン活動開始のあいさつを行いました。

ミスピーチの皆さんは、「福島のおいしい桃はもちろん、豊かな自然や魅力ある果物を明るい笑顔でPRします」と意気込みを語りました。引地真町長は「福島の果物を皆さんが心待ちにしています。今年も一緒に頑張りましょう」と激励しました。



意気込みを語るミスピーチの皆さん

元気に長生きしてください 宍戸光子さん 100歳のお祝い

100歳を迎えた宍戸光子（ししどてるこ）さんへの県知事賀寿と町敬老祝金の贈呈式が7月5日、宍戸さんの自宅で行われました。福島県県北保健福祉事務所小谷尚克所長が知事賀寿と記念品、引地真町長が敬老祝金、町社会福祉協議会寺島長司会長が花束をそれぞれ手渡し、宍戸さんの100歳をご家族と一緒に祝いました。いつまでもお元気で過ごしてください。



町社協寺島会長から花束を受けとる宍戸光子さん

夏はこまめな水分補給を！

子どもは体温の調節機能が未発達で、体に熱がこもって体温が上昇しやすくなります。また、身長が低く、地面からの照り返しの影響も受けるので、高温の環境下にさらされています。子どもが飲みたがったときに飲ませるのではなく、こまめな水分補給を心がけてください。

どのくらいの量が必要？

生後0～11か月

→ 体重1kgあたり 約150ml / 日

1歳から6歳（未就学児）

→ 体重1kgあたり 約100ml / 日

例) 生後4か月で体重6kgの赤ちゃん… 900ml

3歳で体重15kgの子ども……………1500ml

※必要量はスープや味噌汁など食事からとる水分量も含まれています。

どんなタイミング？

飲ませようとしても、なかなか思うように飲み物を飲んでもくれないこともあります。以下のタイミングで水分補給をして習慣化することで、スムーズな水分補給ができます。

- ・起床時
- ・外から帰ってきたとき
- ・体を動かす前後
- ・食事、おやつ
- ・入浴の前後
- ・就寝前



子育て情報
をお届け！

今月の対象は

出産まで

新生児

乳幼児

小・中学生

☎ こども家庭センター（福祉課子育て支援係内） ☎ 585-2179

5歳児健診はじめました！



5歳児健診ってどんなことをするの？

基本的には他の乳幼児健診と同じですが、5歳児健診では、「発達相談」があり、発達面や子どもへの関わり方などの相談ができます。



これまで3・9か月児、1歳6か月児、3歳6か月健診はあったけど、どうして5歳児健診が始まったの？

5歳児ごろは基本的な生活習慣が確立し、社会性を身につける大切な時期です。就学期を迎える前に5歳児の心身の成長発達を確認することで、必要な支援や準備につなげることを目的に行います。



5歳児健診の流れ

①保健師による問診



②身体計測



③小児科診察



④発達相談



⑤保健指導



子育てインフォメーション

5歳児健診

- 日時 10月22日(日)
- 受付 午後1時30分～午後1時45分
- 会場 森江野町民センター
- 対象者 令和元年6月1日から令和元年8月31日生まれ

ニコニコ相談会

- 日時 10月16日(日) 午前10時～午前11時30分
- 会場 子育て支援センター（藤田保育所内）
- 対象者 国見町在住の妊婦、国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み 前日までに福祉課子育て支援係または藤田保育所（☎ 585-2374）へ連絡

「こどもまんなか 児童福祉週間」標語募集

国では、5月5日の「こどもの日」から1週間を「こどもまんなか 児童福祉週間」としています。

令和7年度の「こどもまんなか 児童福祉週間」の標語を募集します。最優秀作品に選ばれた標語は児童福祉週間のポスターやイベントで使われます。あなたからの募集をお待ちしています！詳しくは、(公財) 児童育成協会のホームページをご覧ください。

- 募集期間 9月30日(日)まで
- 募集内容 子どもたちを応援する標語や、未来に向けて子どもたちからのメッセージとなる標語
- 問い合わせ 公益財団法人 児童育成協会「標語募集」係 ☎ 03-5357-1174 ✉ hyogo@kodomonono-shiro.jp



子育て絵本を
プレゼントしています！

お子さんの成長を確認し、安心して
就学を迎えられるよう受診しましょう！



ベビー用体重計をお貸しします

「母乳育児だけど、赤ちゃんがどのくらい飲んでいるか分からない…」 「順調に体重が増えているか心配…」 赤ちゃんの健やかな成長を支援するため、町では、「ベビー用体重計」を無料で貸し出します。

- 対象 国見町在住で生後3か月未満の乳児の保護者（里帰り出産のため、一時的に居住している方も対象）
- 貸出期間 1週間程度（期間延長の場合は要相談）
- 申込み 予約状況を確認しますので、福祉課子育て支援係までご連絡ください。



こちらを貸し出します

見直そう！「重複受診・頻回受診」「重複・多剤処方」

重複・頻回受診とは？

重複受診とは、同様の病気で2カ所以上の医療機関を受診することをいいます。また、頻回受診とは、ひと月に同様の病気で同じ医療機関に15回以上通院することをいいます。



重複・多剤処方とは？

重複処方とは、複数の医療機関から同時期に類似している薬効の薬を処方されることをいいます。また、必要以上に多くの種類の薬を処方されることを多剤処方といいます。医療機関に通院する時には、「おくすり手帳」を持参しましょう。



個別訪問を行っています

町では、「重複・頻回受診」「重複・多剤処方」に該当する方への受診指導を行っています。保健師または看護師が個別訪問をして、健康状態や生活状況を確認するとともに、適切な受診や投薬などの受診指導や健康相談を行います。ご協力をお願いします。



院長先生の診察室から

【第33回】



藤田病院から、二つお知らせがあります。当院では、駐車場の混雑に対応するため、患者用の駐車場を41台分増やしましたので、安心してご来院ください。

国産ロボット支援手術システム「hinotori」が導入され、6月から前立腺がん手術で使用を開始しました。患者さんにとって、より優しい手術が可能となりました。

さて、お盆で人の移動が活発になる季節です。コロナ感染症は、夏と冬にピークがあり、沖縄では7月に患者数が増加しており、東北地方では8月頃に流行する可能性があります。重症化率は低下していますが、感染力は強力で、高齢者や基礎疾患のある方にとっては危険な病気ですので注意しましょう。発熱がある場合は、市販の抗原キットでの検査をお勧めします。風邪気味で体調の悪い方は、感染を広げないためにマスクの着用をお願いします。基本的感染対策は、換気、手洗いですので実行してください。特に、高齢者がいる家庭においては、感染防止対策が必要です。

最近流行している手足口病に対する有効なワクチンはなく、感染者は乳幼児が中心です。感染経路は飛沫、接触、排泄物ですので、予防はしっかりとした手洗いが大切で、タオルの共用は避けましょう。

夏休みを楽しく過ごすために、基本的感染対策を実行してください。

ほけんだより

— Health topics —

問ほけん課 保健係 ☎585-2783

✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

今、はじめよう。子宮頸がん予防

ウイルス感染でおこる子宮頸がん

子宮頸がんは子宮の入口にできるがんのことで、子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によるものです*。

このウイルスは、女性の多くが“一生に一度は感染する”と言われます。感染しても、ほとんどの人は、自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。

現在、感染した後にどのような人ががんになるのか分かっていないため、感染を防ぐことががんにならないための手段です。* HPVは一度でも性的接触の経験があればだれでも感染する可能性があります。

何人くらいが子宮頸がんになるの？

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、毎年、約2,900人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人が、1年間に約1,000人もいます。

〈一生のうち子宮頸がんになる人〉

70人に1人程度

〈子宮頸がんで亡くなる人〉

350人に1人程度

／今からできること／

HPV ワクチンの予防接種

定期接種 (無料) 平成20年4月2日から平成25年4月1日生まれ (小学6年から高校1年相当)

キャッチアップ接種* 平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれでワクチン未接種の女性 (17歳～27歳相当)

*無料で受けられるのは、令和7年3月末までです。ワクチンは3回接種する必要があるため、9月までに1回目の接種を受けましょう。

／20歳を過ぎたらできること／

子宮頸がん検診

HPVにはたくさんの種類があり、ワクチン接種では感染を予防できないウイルスもあります。ワクチンを受けていても、子宮頸がん検診は必要です。

町では、20歳以上の偶数年齢の方を対象に実施しています。受診するには受診録が必要です。お手元がない方で受診を希望する方はご連絡ください。

毎月19日は「みんなで食べる国見の日」

町では毎月19日を「みんなで食べる国見の日」とし、家庭や地域で受け継がれた料理を食べよう推奨しています。国見町食卓図鑑から今月のおすすめメニューはこちら！

ぼたもち ～お盆にいただく大切な一品～

【材料】

もち米……………適量
うるち米……………適量
あずき……………適量
枝豆 (冷凍もの) ……適量
きな粉……………適量
すりごま……………適量
砂糖……………少々
塩……………少々

【作り方】

- ①もち米8：うるち米2の割合で炊く。
- ②砂糖と塩少々を加えたお湯で、あずきを煮る。
- ③解凍した枝豆と塩、砂糖をフードプロセッサーに入れ、細くなるまで回す。
- ④すりごまに塩と砂糖を加えて味付けする。
- ⑤①の炊いたお米を丸め、きな粉や②③④をつけて完成。





図書館へ行こう

第2回子ども司書講座・活動

第2回子ども司書講座と活動が7月6日に開催されました。

講座の「日本十進分類法について」では、図書館司書より本の配架や分類のきまりを学び、返本作業に挑戦しました。

また、前回講座「図書館のカウンター業務」のおさらいとして、窓口で利用者の応対を行いました。

活動の「新刊雑誌の処理を学ぼう」では、バーコードシール添付やシステム登録に挑戦し、苦戦しながらも、子ども司書同士で教え合いながら取り組みました。



分類法に基づき返本作業に挑戦！



教え合いながら、新刊雑誌を登録

Art & Sports Life ~文化・スポーツ情報~



▲演奏する山本奈央さんと志野彩音さん

公共ホール音楽活性化支援事業 山本奈央オカリナコンサート

6月23日、オカリナ奏者の山本奈央さんとクラシックギター奏者の志野彩音さんによるコンサートが観月台文化センターホールで開催されました。「長崎の鐘（作曲古関裕而）」や「時代（中島みゆき）」など全13曲を披露し、澄みきったオカリナの響きと情熱的なクラシックギターの競演に、会場は感動に包まれていました。



▲グリーンアリーナ923で熱戦！

県民スポーツ大会 県北地域大会

第77回福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会県北地域大会が7月14日に開催され、町代表として国見町体協ソフトボール部（壮年ソフトボール）、ブラックパンサー（家庭バレーボール）、国見ST（ソフトテニス）が出場。ソフトテニス競技では、上野台運動公園グリーンアリーナ923が会場となり、全7チームによる熱い戦いが繰り広げられました。

国見町観月台文化センター開館30周年・国見町合併70周年記念事業 観月台クラシックス 松田華音ピアノリサイタル

- 日時 10月12日(日) 開場：午後1時30分 開演：午後2時
- 場所 観月台文化センターホール
- チケット販売 観月台文化センターで販売中
全席自由【一般】前売り2,000円
当日2,500円
【高校生以下】1,000円



© Ayako Yamamoto

施設の無料開放のお知らせ

- 8月21日(水) 「福島県民の日」
- 9月23日(月) 「くにみの日」※町民限定
- 【対象施設】・観月台文化センター
・上野台運動公園
- ※冷暖房・照明・電源等の付属設備使用料は別途徴収

いろいろな道具を使って「忍者体験」

国見っ子わんぱく広場「忍者ランドであそぼう」

地域学校協働本部事業国見っ子わんぱく広場の第2回活動が6月22日に行われました。学生・保護者ボランティアの協力のもと、大きな新聞を作ってその下をくぐる新聞あそびや、手裏剣など10種類の忍者あそびをする忍者ランドを行いました。子どもたちは、元気いっぱい走り回っていました。



▲狙いをさだめて手裏剣ダー！



▲好きな花を選んで、アレンジメントを楽しみました

夢中になれる自分時間

家庭教育支援講座 子育てリフレッシュ教室

第3回子育てリフレッシュ教室が7月19日に道の駅国見あつかりの郷で開催され、参加者は季節の花を用いたフラワーアレンジメントに挑戦しました。託児は道の駅内にある「木育広場つながる〜む」で行いました。その後、親子で家庭教育コーディネーターの鈴木道代さんによる手遊びと絵本の読み聞かせを楽しみました。

▶ Lifelong-Learning

生涯学習通信

国見町教育委員会生涯学習課（観月台文化センター）
☎ 585-2676 Fax585-2707
E-mail : shogai@town.kunimi.fukushima.jp



▲県警音楽隊による演奏

交通事故や詐欺被害に遭わないように くにみ観月台カレッジ全体学習「交通安全教室」

7月5日に行われた「交通安全教室」では、福島北警察署桑折分庁舎高野警部より「交通事故防止のために」と題し、「高齢者の事故」「夜間事故」「特殊詐欺被害」の注意点のお話がありました。また、県警音楽隊によるエネルギッシュな演奏とフラッグ隊のドリル演技があり、参加者は活気あふれる雰囲気の中、交通安全の大切さを学びました。

みんなで歌って盛り上がりよう！

キッズシアター

6月24日、音楽座ミュージカルによるキッズシアターが国見小学校体育館で開催されました。「目に見えない大切なコトって何？」をテーマに、子どもたちが参加しながら歌と演技が進められ、子どもたちと一体となった舞台となりました。



▲リズムをあわせて、一緒に舞台を盛り上げました

お知らせ

自衛官募集

令和7年度入隊の自衛官の採用試験を実施します。
【一般曹候補生】
▼応募資格 18歳以上33歳未満の者
▼募集期間 【第2回】9月3日～10月1日
▼試験日程 【第2回】1次…9月14日～22日、2次…10月12日～27日

月24日(土)・25日(日)は午前10時から午後5時まで
▼電話番号 0120-007-1110 (フリーダイヤル)
▼SNS LINE公式アカウント「法務局LINEじんけん相談」

福島県では、首都圏にお住まいの福島県出身者の若者を対象とした交流会「ただいま、ふくしま。2024 in 東京」を都内で開催します。
▼開催日時 9月28日(土)午後3時から午後5時30分
▼会場 BASE Q (東京都千代田区東京ミッドタウン日比谷6階)
▼特設サイト・参加申込み専用のQRコードから申込み



8月15日の黙祷と半旗の掲揚

8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」として、日本武道館で政府主催の全国戦没者追悼式が開催されます。
▼式典当日 (8月15日)の正午、各家庭や職場などで、1分間の黙祷をささげてください。
▼福島県社会福祉課 585-2793

「はたちの成人のつどい」を開催します

「令和7年はたちの成人のつどい」を開催します



2025年農林業センサスにご協力ください

農林水産省では、令和7年2月1日現在で、「2025年農林業センサス」を実施します。
この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。
令和6年12月中旬から農林業を営んでいる皆さまのところに調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。

結婚世話やき人 月例相談会

町では、結婚について心配や悩みを抱えている人を支援

「どい」を令和7年1月12日(日)に、観月台文化センターで開催します。対象は、町内に住民票がある平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの方です。

実行委員会参加者の取りまとめ、案内状送付先の確認のための書類を郵送しますので返送してください。
また、町外に転出された方で参加を希望する方は、氏名・住所・連絡先をご連絡ください。
なお、町HPにも掲載しますので、ご確認ください。

8月は食品衛生月間

食中毒は毎日食べている家庭の食事でも発生します。特に夏場は気温が高く、細菌が増えやすくなるため、食中毒が起きやすくなります。
【食中毒予防の3原則】
・食中毒菌をつけない…手洗いの徹底、器具の使い分け(肉、魚、野菜で分ける)

【食中毒予防の3原則】
・食中毒菌をつけない…手洗いの徹底、器具の使い分け(肉、魚、野菜で分ける)

するため、結婚世話やき人による相談会を開催しています。相談は無料で、秘密は厳守します。ぜひ相談ください。
▼日時 8月25日(土)午後1時から午後3時
▼場所 観月台文化センター1第2和室
▼福島県子育て支援係 585-2179



菊地教育長退任のあいさつをする菊地教育長

菊地弘美教育長退任

6月30日の任期満了をもって、菊地弘美教育長が退任されました。
菊地教育長は令和3年4月1日に就任して以来、3年3か月にわたり町教育行政を支えてきました。

・食中毒菌をふやさない…温度管理(冷却)、常温に放置しない、作ったらすぐ食べる
・食中毒菌をやっつける…十分な加熱(中心部まで火を通す)。ノロウイルスは85℃90秒以上
○県北保健所食品衛生チーム 534-4305

「こどもの人権相談」電話相談の実施

福島県法務局と福島県人権擁護委員連合会は、本年8月21日から27日までの7日間、全国一斉「こどもの人権相談」強化月間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰などこどもの抱える人権問題について、電話およびLINEによる人権相談を実施します。
相談は、人権擁護委員および法務局職員が応じ、秘密は守られます。期間中は、平日の夜間、土曜日・日曜日も相談に応じますので、お気軽にご相談ください。
▼受付期間 8月21日(金)から8月27日(木)
▼受付時間 午前8時30分から午後7時まで ただし、8

広告掲載

国見の民話 かるた



【第十六回】 きつね火

「そば畑に見させる古狐」

まだ、半田銀山で銀を掘っていた頃、このあたりの農家は副業で銀山に働きにたくさんの人達が行って、夜の番、昼の番の交代制でした。
ある人が夜の番があけて坑内から出たはずなのに家に帰ってこない。心配して探しに行くと、家の前のそば畑の中を、まるで川の中を漕いでいるかのようには歩いていて。今度は、遊郭に行つて遊んでるかのようには、上機嫌に歌いながら、小高い所を登った

8/9 金	・広報くにみ 8月号発行 ・5歳児健診 ・少年仲間づくり教室「自然体験キャンプ」
10 土	
11 日	・山の日
12 月	・振替休日 ・ももスボ夏祭り
13 火	
14 水	
15 木	・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
16 金	
17 土	・観月台クラシックス「務川慧悟 ピアノリサイタル」
18 日	・スポ少指導者研修会
19 月	・夏休み学習会 ・子ども司書活動「くにみ幼稚園預かり保育おはなし会」 ・パーゼンドルファー試弾会
20 火	・いきいきサロン徳北・第7（午後1時30分～） ・夏休み学習会 ・パーゼンドルファー試弾会
21 水	・ニコニコ相談会 ・【施設無料開放日】県民の日 ・大人の文学講座③
22 木	・いきいきサロン泉田中（午後1時30分～） ・心配ごと相談（午前9時～正午） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
23 金	・いきいきサロン石母田（午後1時30分～）
24 土	・ペアレントトレーニング ・親子クッキング教室
25 日	・結婚世話やき人月例相談会（午後1時～午後3時） ・マイナンバーカード休日臨時窓口（事前予約制）
26 月	
27 火	・いきいきサロン石母田（午後1時30分～）
28 水	
29 木	・いきいきサロン大枝（午前10時～） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
30 金	・いきいきサロン源宗山（午前10時～）
31 土	
9/1 日	・青少年健全育成剣道大会・復興祈念剣道大会 ・子育てリフレッシュ教室
2 月	・いきいきサロン川内（午後1時30分～） ・観月台文化センター休館日
3 火	・いきいきサロン内谷・鳥取（午後1時30分～） ・1歳6か月児健診 ・移動図書館（1年生）
4 水	・いきいきサロン太田川（午後1時30分～）
5 木	・いきいきサロン塚野目（午後1時30分～） ・移動図書館（2年生） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
6 金	・いきいきサロン第4（午後1時30分～） ・くにみ観月台カレッジ研修旅行
7 土	・子ども司書講座「本の装備」 ・新教研もぎテスト
8 日	・英検対策講座 ・子ども司書活動「絵本かるた」
9 月	・いきいきサロン泉田下（午前10時～）

9月の休日当番医（診療時間：午前9時～午後5時）

当番日	医療機関名	電話番号
1 日 日	（医）おの整形外科クリニック （伊達市梁川町字西土橋 120）	☎ 527-1055
8 日 日	（医）桑名医院 （伊達市片町 41）	☎ 583-3024
15 日 日	保原中央クリニック （伊達市保原町字城ノ内 73-1）	☎ 575-3231
16 日 祝	（医）阪内医院 （伊達市梁川町青葉町 97）	☎ 577-2222
22 日 祝	さとうファミリークリニック （伊達市保原町上保原町字中島 8-5）	☎ 574-2811
23 日 祝	北福島医療センター （伊達市箱崎字東 23-1）	☎ 551-0551
29 日 日	（医）すずき医院 （伊達市保原町字西町 175）	☎ 575-2563

【休日救急歯科診療】（日・祝）
 受付時間：午前9時から午後4時30分まで
 場所：福島市保健福祉センター（福島市森合町10番1号）
 ※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

6月21日～7月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

●おくやみ申し上げます●

鈴木サダ子さん	92	（貝田）
石黒 英男さん	77	（宮町南）
佐藤 トシさん	93	（前田）
安達はつ子さん	88	（鶉町）
長谷川久夫さん	87	（滝山）
高橋トモイさん	94	（高城）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和6年6月30日現在

※住民基本台帳人口（前月比）

人口	8,137（-19）	転入	5（-4）
男	3,928（-8）	転出	16（+2）
女	4,209（-11）	出生	1（±0）
世帯	3,379（-1）	死亡	9（-1）

今月の納期限は9月2日

町税等の納付は【口座振替】が便利です

町県民税（普通徴収）【第2期】

☎ 税務課課税係 ☎ 585-2778 税務課収納係 ☎ 585-2780

国民健康保険税（普通徴収）【第2期】
後期高齢者医療保険料（普通徴収）【第1期】

☎ ほけん課国保係 ☎ 585-2785

介護保険料（普通徴収）【第2期】

☎ 福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125

●振替口座の預金残高を前日までに確認してください。再振替は行っていませんのでご注意ください。

●町税や上下水道使用料は、コンビニヤスマホ決済アプリからも納付ができます。

●QRコードが印刷されている町税の納付書は、「地方税お支払サイト」から電子納付ができます。また、金融機関の一部店舗ではATMで納付ができます。

“うっかり忘れ”でも延滞金が発生したり、予告なく滞納処分（財産差押）されたりしますので、納め忘れがないか確認しましょう。

町営住宅・定住促進住宅の
空室状況をお知らせします
（令和6年7月末）

定住促進住宅	1部屋	滝山団地	7部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	2部屋

☎ 建設課管理係 ☎ 585-2972

広報くにみ7月号の訂正

広報くにみ7月号17ページに記載の「まちの情報ボックス」において、誤りがありました。正しくは次のとおりです。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

■訂正箇所

〈「後期高齢者医療被保険者証」の更新〉

【誤】7月31日まで医療機関などで～

【正】令和7年7月31日まで医療機関などで～



広報くにみ & 町ホームページに
広告を掲載してみませんか？

町では、広報くにみや町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。詳しくは問い合わせください。

広報くにみ

1 枠（縦45 [㍉] ×横174 [㍉] ）	12,000円/1回
半枠（縦45 [㍉] ×横84 [㍉] ）	6,000円/1回

ホームページ

1 枠（トップページ下段）	6,000円/月
---------------	----------

☎ 総務課秘書広報係 ☎ 585-2113

『広報くにみ』をもっと身近に

スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に「広報くにみ」を読むことができるよう、「マチイロ」「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ利用ください。



ダウンロードはこちら↓

市区町村の広報紙をネットやスマホで



ホームページにアクセス↓



夢に向かって

寄り添い、支える人になりたい——

後藤 ^{かい}海 さん (県北中3年)

第28回

私の将来の夢は、はっきりと決まっていませんが、スポーツトレーナーに興味があります。

私は、プロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスのファンで、よく野球観戦をします。その中で、スポーツトレーナーという職業を知りました。身体の使い方やトレーニング方法、疲労回復など、選手が最高のパフォーマンスが出せるようにサポートする仕事に魅力を感じています。

先月中体連が終わり、部活動はすでに引退しましたが、私は男子卓球部の部長でした。部長として、チームメイトがやりやすい環境にするために、積極的にコミュニケーション

を取るようしていました。特に下級生は、上級生に緊張してしまうので、練習相手になってもらったり、意見を聞いたりして、下級生が緊張しないようにコミュニケーションを取るようしていました。部活動をとおして、力が発揮しやすい環境づくりの重要性を学ぶことができました。

これから受験勉強が本格的に始まるので、この夏休みでは、中学1年、2年の復習をして、苦手教科を基礎から勉強したいと思います。夏休み中は、ついだらけてしまうので、メリハリのある生活を心がけたいです。

将来スポーツトレーナーになったら、選手の能力を伸ばせるトレーナーになりたいです。そのためには、信頼される人にならないといけないと思うので、日ごろから謙虚な心と相手に寄り添うことを忘れずに過ごしていきたいです。



編集発行

国見町

JD FONT

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二-1-7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181
E-mail sometown.kumini.fukushima.jp URL www.town.kumini.fukushima.jp



町長コラム

ま真こらむ

【第37回】

若い活躍が輝く夏

健全育成町民会議の奨励金交付式。会場の大研修室に向かう。入口に近づくにつれ段々と子どもたちの声が大きくなっていく。「あ、いるいる。ん？ 元気だな、楽しそうだな…」と、こちらもニンマリしてしまう。

会場に入ると、ユニフォーム姿のバレーボールとソフトボールスポ少の子どもたち、制服を着た小学生と高校生たち。そしてお父さん、お母さん。「今日は多いっす」と聞いてはいたけど、「ホントだ。頑張った子たちがこんなにもいるの？ やばあ〜」って感じ。

この奨励金は、引地が教育委員会のときに、スポーツや文化・芸術などの分野で県大会や全国大会に出場する国見の子どもたちを激励したいと思って作った制度。この日は、小学生から高校生までの12人と2つの団体に交付。出席したのは子どもたち30人弱とお母さん、お父さん。資料を見たら、4月から7月までの間に、何と、彼らは35ものスポーツ大会に出場してる。多い子は2つの全国大会を含めて7つの大会に出場。

名前を呼ばれて、奨励金を受け取る時の表情は、皆、照れくさそうな、よそ行きの顔してたけど、でもね、式の後の写真撮影では、友だち同士、笑顔いっぱい、床に寝転んだり、思い思いのポーズを決めたりして、思い切り弾けてた。

これを見てて、何か、とてもうれしくなった。そして、彼らを撮影してるお父さん、お母さんを見てても、うれしくなった。

どうか、好きな部活やスポ少をしながら、いろんな経験をして、いろんな感動を体験してください。大人は皆、応援してるから。



引地 真